

平成20年度県立広島大学学術講演会

限界集落と地域おこし

離島や山地などを中心に過疎化が進み、公共交通の衰退、商店の消滅など、地域社会そのものが成り立たない時代を迎えています。その一方で地域資源を活用した振興、自治組織を用いた住民自治の推進、新たな交通手段の確立など、住民の自助が求められています。日本の多くの地域で問題となっているこれらの課題についてその現実と希望を語ってもらいます。

講師 徳野 貞雄

熊本大学文学部総合人間学科地域社会学教授



略歴

1949年大阪府生まれ。九州大学大学院文学研究科博士課程終了。広島県立大学経営学部助教授等を経て、現職に至る。食と農の専門家として、日本全国の農村に出かけ、農村社会学、農業社会学、地域振興論の研究に取り組む。著書に、『転換期における農業農村の進路』（農文協）、『農村(ムラ)の幸せ、都会(マチ)の幸せ—家族・食・暮らし』（NHK出版）等。



- 1 日時** 平成20年11月17日(月) 14:40~16:10
- 2 場所** 県立広島大学庄原キャンパス大講義室(2号館1階)
- 3 参考図書** 『農村(ムラ)の幸せ、都会(マチ)の幸せ』(NHK出版)
- 4 聴講料** 無料
- 5 申込方法** 電話、FAX、メールにてご連絡ください。
*受講申込に伴う個人情報は本講座以外の目的では使用いたしません。
- 6 お問い合わせ** 庄原市七塚町562 県立広島大学庄原キャンパス
庄原地域連携センター (TEL&Fax 0824-74-1704)
庄原キャンパス総務課 (TEL 0824-74-1000 Fax 0824-74-0191)
E-mail gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp